

## ミナミマグロ漁獲枠（TAC）及び国別割当の推移

ミナミマグロ保存委員会(CCSBT)

	2013年	2014年	2015年	2016～2017年各年	2018～2020年各年	2021～2023年各年	2024～2026年各年
日本	2,703	3,403	4,847	4,737	6,117 *1	6,197.4 *2	7,247.0 *4
豪州	4,713	5,193	5,665	5,665	6,165	6,238.4 *2	7,295.0 *4
韓国	948	1,045	1,140	1,140	1,240.5	1,256.8	1,468.0
台湾	948	1,045	1,140	1,140	1,240.5	1,256.8	1,468.0
NZ	833	918	1000	1000	1088	1102.5	1,288.0
インドネシア	709	750	750	750	1023 *1	1122.8 *2	1,336.0 *4
南アフリカ	40	40	40	150	450 *1	455.3 *2	527.0 *4
EU	10	10	10	10	11	11	13.0
フィリピン *a	45	45	45	45	-	-	-
調査死亡枠 *b	-	-	10	10	6	6	6
IUU考慮枠 *c	-	-	-	-	306	* 3	* 3
TAC	10,949	12,449	14,647	14,647	17,647	17,647	20,647

（出所：水産庁プレスリリース、CCSBTウェブサイト）

\*a 2017年10月12日協力的非加盟国としての地位が停止

\*b メンバー国が実施する科学調査のための枠。

\*c 非メンバー国によるIUU漁業を考慮。

\*1 日本の配分量の自主的移譲数値を反映済み。（日本 6,165⇒6,117: インドネシアに各年21トン、南アフリカに各年27トンを移譲）

\*2 日本及び豪州の配分量の自主的移譲数値並びにインドネシアに対する特別臨時割当(各年80トン)を反映済み。

（日本6,245.4⇒6,197.4: インドネシアに各年21トン、南アフリカに各年27トンを移譲）（豪州 6,245.4⇒6,238.4: インドネシアに各年7トンを移譲）

\*3 新しい管理方式でIUU漁獲を考慮済み

\*4 日本の配分量の自主的移譲数値及びインドネシアに対する特別臨時割当(各年130トン)を反映済み（日本 7,295⇒7,247: インドネシアに各年21トン、南アフリカに各年27トンを移譲）。